



2学期がスタートしました

長く、暑かった夏休みが終わり、大きく成長できる2学期が始まりました。振り返ると、1学期の終業式の中で、勉強、部活を始め、健康で、有意義な休みにしましょうという話をしました。頑張った生徒には頑張った分、必ず2学期以降に成果として表れます。さらなる高みを目指して、これからの日々の中でチャレンジし、成長の糧にしていきましょう。

さて、23日から中身の濃い2学期が始まりました。学園祭、強歩大会、新人大会をはじめたくさんの行事が待っています。生徒会最大行事の炎翼祭では、クラスの団結、学年の団結、全校生徒の団結など、取り組みは厳しく辛いこともたくさんあると思いますが、こういう行事からいろんなことを学んでほしいと思います。そして行事を通して改めて自分の学級、学年、学校が一番という塩中魂の意識を持って頑張ってもらいたいと思います。

学園祭が終わると3年生はいよいよ進路実現に向けて、本格的に取り組んでいかなければなりません。また、1・2年生は新人戦、そしてその後は3年生にかわり、学校をリードしていく立場となります。ぜひ、この2学期も目標をもって生活してほしいと思います。本気で熱くなって頑張っていきましょう。

学園祭「炎翼祭」について

生徒会最大行事である第53回塩山中学校学園祭（炎翼祭）が9月7日（土）、8日（日）に開催されます。スローガンは『青春逢花』です。これは生徒会スローガン「最高結咲」につながるもので、全校生徒一人ひとりが最高の花を咲かせ、青春を謳歌し、お互いに協調することができるという思いが込められています。鈴木生徒会長を中心とした生徒会役員がリーダーシップを発揮すると同時に、みんなのために力を結集し、全ての活動にベストを尽くしましょう。

県総体、関東・全国大会、各種大会、コンクール等の結果

7月下旬から、県中学校総合体育大会、各種コンクール、関東大会等が開催されました。どのチーム、どの選手も最後まであきらめない姿や、「さわやかなあいさつ」や「マナーの良い塩中」を見せてくれました。また、関東大会、全国大会に出場した選手は山梨県の代表として一生懸命にがんばる姿やベストを尽くし、本気でプレーする姿がありました。試合や発表以外でも他県の方々から挨拶や態度についてお褒めの言葉をいただきました。結果は次の通りです。

●県総体

- ◇ハンドボールの部男子 優勝 (関東大会出場)
- ◇ハンドボールの部女子 優勝 (関東大会出場)
- ◇陸上の部
 - 共通男子3000m 2位 田邊 瑛都 (関東大会出場)
 - 共通男子1500m 2位 武藤 瑛太 (関東大会出場)
 - 共通男子棒高跳 2位 杉本 拓海 (関東大会出場)
 - 共通男子砲丸投 2位 安部 勇信
 - 共通男子円盤投 3位 安部 勇信 (関東大会出場)
 - 共通男子四種競技 1位 廣瀬 王希 (大会新, 県中学記録, 関東・全国大会出場)
 - 学校対抗共通男子総合 1位 塩山中学校
 - 1年女子走り幅跳 3位 小倉 緒珠
 - 2年女子800m 3位 樋口 椎捺
 - 共通女子四種競技 1位 鈴木 萌花 (関東大会出場)
 - 共通女子走幅跳 2位 奥村 望叶 (関東・全国大会出場)

●県吹奏楽コンクール 中学生部門Bの部 金賞

●県マーチングコンテスト A・B部門西関東大会出場

●関東大会

- ◇ハンドボール男子 1回戦 対 大坂上 (東京) 20-36 惜敗
- ◇ハンドボール女子 1回戦 対 泉谷 (千葉) 34-19 勝利
- 準々決勝 対 宮内 (神奈川) 17-32 惜敗
- ◇陸上
 - 共通男子3000m 決勝21位 田邊 瑛都
 - 共通男子1500m 予選11位 武藤 瑛太
 - 共通男子1500m 予選12位 鶴田 勇翔
 - 共通男子棒高跳 決勝22位 杉本 拓海
 - 共通男子円盤投 決勝21位 安部 勇信
 - 共通男子四種競技 優勝 廣瀬 王希
 - 共通女子走幅跳 決勝12位 奥村 望叶
 - 共通女子四種競技 24位 鈴木 萌花
 - 共通女子四種競技 23位 廣瀬 萌衣
- ◇水泳
 - 200m平泳ぎ 58位 澤登 あいか
 - 400m個人メドレー 23位 大須田 桃菜
 - 200m背泳ぎ 57位 石井 莉菜
 - 200m個人メドレー 53位 八巻 芽生

●全国大会

- ◇陸上
 - 共通男子四種競技 4位 廣瀬 王希
 - 共通女子走幅跳決勝 25位 奥村 望叶

●第2回シャトー勝沼ワインラベルコンクール ナイスデザイン賞 矢澤 暖芽 荻原 明音



※裏面もご覧ください…

* 4月18日に行われた全国学力学習状況調査の結果（3年生実施）について概要をお知らせします。以下の分析をしっかり読んでいただき、今後の学習や生活に生かしていただきたいと思います。

○ 教科に関する調査について

本校の結果について

国語⇒全国平均より4ポイント上回った。

数学⇒全国平均より3ポイント上回った。

① 国語では・・・

成果⇒書くこと、読むこと、話すこと、など全国平均より非常に高いレベルにあります。授業で取り組んでいることを中心にやってきたことを継続して学習していくことが大切です。

課題⇒文の成分の順序や照応について理解することができること、文脈に即して漢字を正しく書くことができること、表現の技法について理解できること、などが課題です。

今後⇒朝読書を大切にし、さらに読書量を増やしたり、わからない言葉や漢字が出てきたときに、辞書やタブレット端末をすぐに活用する習慣をつけたりすることを心がけることが大切です。

② 数学では・・・

成果⇒「数と式」「関数」については高い数値を示しています。特に目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができ、また統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができています。

課題⇒筋道を立てて考え、証明することや確率を求めることです。

今後⇒事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるようになることが重要です。授業を大切にし、さらに協働する場面では、積極的に話し合いや学び合いに参加したり、わからない問題が出てきたときに、自らタブレット端末を活用する習慣を身につけたりすることを心がけることが大切です。

○ 生徒の質問紙調査の結果について

成果⇒各教科への関心・ICTの活用状況・規範意識・自己有用感・生活習慣・学習習慣・地域への関わりなど、ほとんどの項目で、良い方に全国を大きく上回る結果となっています。

課題⇒「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの学習時間」の数値が全国平均を下回っています。家庭学習の時間を増やすことが学力の向上につながります。また「学校の授業時間以外で、1日当たりPC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使用している時間」を少しずつ増やすことも学力向上につながると思います。

○ 本校の実践について

本校では「主体的に学ぶ心豊かな生徒」をめざして、全校で取り組んでいます。

①「Web Q-Uを活用した集団づくり」の手立てとして・・・

学習規律の確立、Web Q-Uの分析と活用、話し合いのルール確立・ルールとリレーションの育成等の実践を行っています。

②「学力向上に関する取り組み」として・・・

昨年度リーディングDXスクール事業の指定を受け、ICT端末を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」を行っています。CRT、全国学力学習状況調査、県学力把握調査、定期テスト、復習確認テスト、リーディングスキルテストの分析を踏まえた授業改善を行っています。特に授業の構造化をはかり、わかる授業づくりに努めています。またICT端末を活用しての双方向での学習活動についてさらに充実させ、実施していきたいと考えます。さらにステップアップノート（家庭学習ノート）やステップアップテストを実施しています。年々、ステップアップノートの内容も充実してきており、参考ノートは教室や廊下に掲示されています。有効な学習方法として、「その日にあった授業内容をノートにまとめ直したり、タブレット端末を利用して問題を解いたりする」というものがあります。学んだことをその日のうちに再度復習することで、記憶への定着が確かなものになります。（エビングハウス忘却曲線）さらに、それを誰かに説明するとアウトプット効果も生じ理解が確かなものになります。ノートを作成した後、家族に説明するなどの習慣を形成してください。子どもだけの孤独な学習ではなく、家族でも応援するという意味合いからも、是非、実践してみてください。